

繁れ 叡智の枝

2022年9月30日(金)

明日のために手を動かす

目次：

明日のために 手を動かす	1
第74回体育祭	2
今後の予定	2
保護者の皆様	2



ハイライト：

秋になり、過ごしやすい時期になりましたが、就職試験が始まり、総合型選抜や学校推薦型選抜が本格化する、非常にありがたい毎日です。つつい周囲が気になってしまい、理由のない不安感や焦りにとらわれてしまいがちです。

いきものがかりの水野さんが書かれているように、「今日ではなく明日のために時間を使うことができているか」、今一度自分を見つめ直したいものです。

いきものがかり水野良樹の そして歌を書きながら

あの頃、勉強しておけばよかったな。
大人たちが判で押したように同じ口調でこのせりふを吐く場面に出くわすと、10代の頃はうっとうしく感じていた。

後に続く“下の句”もいつも決まっていた。それは助言の体裁で繰り出されるお説教で「だから若いおまえらは、後悔しないように今のうちに勉強をしておけ」と、さも賢人のような顔でこちらにほほ笑みかけてくる。「はい、分かりました」と棒読みにも似た口調で答えて内心では「またかよ」と舌を出して悪態をつけているというのが若い頃の実際だったと思う。

老いを意識するような肉体的変化はまだ訪れていないし、時の流れを実感できるほど長くも生きていない。目の前の現在はひょっとすると永遠に続くのではないかという感覚を無邪気に持っていられるのが若者の特権で、その頃に「時間は大切ですよ」と言われてもピンとくるわけがない。自分もそうだった。

時間の尊さ

しかし、このやりとりが面白いのは助言を受ける側だった若者が、いずれは自分も月日の流れの中に身を委ねていることに気がつき、ふと振り返ったときには人生の道程のかなりを進んでしまったことを知り、時間の尊さを後から思い知らされることだ。そしてかつて自分が抱いた反感のことなどすっかり忘れてあの言葉を口走ってしまう。「あの頃、勉強しておけばよかったな」と。

40代を前にして例外でなく自分も同じようなことを思ってしまう。下の世代には嫌われたくなくて「おまえも勉強しろよ」という“下の句”は何とかならずのところで言わないういられているが、こぼれんばかりの豊富な未来を手に行っている若者を見るとうらやましくなるのは否定できない。ああ、彼はここからたとえ10年かけて勉強をしてもまだ30歳なのだな。いいなあ。

未来を食う

と書いたところで読者の中におられる人生の先輩方の多くはこの筆者に対して「おまえこそ40にもなっていないじゃないか。まだ若造じゃないか」とお叱りの言葉をつぶやかれるだろう。ごもっともだ。

時が移ろいゆくことを理解できる年齢にはなったが、それでもまだ若い。ここからさらに自分の人生にアクセルを踏もうとする気概も少なからずある。そうやって息巻いて顔を上げるが、そこで目の前を見てぼうぜんとする。日常の仕事が山のように積まれて高くそびえたっている。こなさなければならぬことが道をふさいでいる。

いや、とても幸せなことだ。仕事があり、与えられた役割があることがどれだけ恵まれていることか。まだ若い自分は体力もあり、それらの現実に向き合う気力も残っている。課された責任を果たすことが周囲への貢献にもつながって喜びもある。けれども、ふと立ち止まる。今日目の前にある現実だけをこなす日々を過ごしていいのかと不安になる瞬間がある。

10代の頃は無知ゆえの根拠のない自信もあってこの先には面白い日々があるはずだと信じてきた。言うならば、未来を食って生きていた。今の自分はこの先に思いをはせ、未来を食うことができているだろうか。自分は、今日ではなく明日のために時間を使うことができているだろうか。

それはもしかすると精神が若くあるために最も重要な心がけなのかもしれない。今そう思って手を動かしている。

(音楽グループ「いきものがかり」リーダー)

「神戸新聞」2021年7月17日(土)より

第74回体育祭～有終の美～

9月16日(金)、75回生最後の体育祭が行われました。台風の接近による荒天が心配されましたが、秋晴れの下、無事に終了しました。惜しくも(1点差!)総合優勝は逃しましたが、3年生が上位を占める躍進ぶりでした。でも、成績よりも嬉しかったのは、3年生がみんな自分のクラスはもちろんのこと、他のクラスや学年も応援していたこと。とてもすばらしい体育祭でした。お疲れさまでした!!

組	総合順位	上位入賞競技
3年1組	総合 第2位	台風の目・4×200mR(1位)
3年2組	総合 第5位	大縄跳び(1位)
3年3組	総合 第6位	4×100mR(3位)
3年4組	総合 第3位	障害物(1位)



体育祭アンケートより

- ◇ どのクラスもすっごく楽しそうであった。特に3年生は最後ということもあり自クラスだけでなく他クラスも応援していい学年の一員になれたと嬉しかった。
- ◇ コロナで制限されていることも多い体育祭だったけど、3年生最後の思い出に残る体育祭になって良かったです。



今後の予定

日時	予定	備考
10月7日(金)	駿台&ベネッセ共催記述模試(放課後)	9月マーク模試成績データアップ
8日(土)	駿台&ベネッセ共催記述模試	
17日(月)	中間考査①	
18日(火)	中間考査②	
19日(水)	中間考査③	
20日(木)	中間考査④	
23日(日)	国際交流プログラム③	
24日(月)	キャンパスカウンセリング	
26日(水)	クラシックコンサート(6限)	
28日(金)	駿台&ベネッセ共催マーク模試	放課後
29日(土)	駿台&ベネッセ共催マーク模試	
31日(月)	キャンパスカウンセリング	

保護者の皆様へ

先日の体育祭では多くの保護者の皆様にご観覧いただきありがとうございました。まだまだ制約ばかりの行事が続いていますが、今年の体育祭では、3年生の生徒たちが敵味方を問わず応援している姿を見て、とても温かい気持ちになりました。きっとやりかけたことはたくさんあったと思いますが、限られた中でも一生懸命に競技に参加し、友達だけでなく、下級生たちに対しても声援を送る姿に、本来の体育祭のあるべき姿を見た思いがしました。

秋を迎えて、総合型選抜・学校推薦型選抜を皮切りに、いよいよ入試が始まります。自分が頑張ることはもちろんのこと、友達の頑張りも応援できる集団であってほしいと願っています。

ホームページもご覧ください
<https://www.hyogo-c.ed.jp/weblog2/homei-hs/>



篠山鳳鳴高校HPアクセス用QRコード